

第16回「文芸思潮」現代詩賞 中間発表 二次・三次・三次予選

●第16回「文芸思潮」現代詩賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、日本全国および外国より三六〇人から作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る五月三十一日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。長いタイトルは短く省略させていただきます。

北海道

- 「父の死と母の大病で」ポロン 小篠真琴
- 「あめの日に」 佐藤明子
- 「サルビア」雨 宇川榛太
- ◎「幸福ゆき」 柴田節子
- 「魔魅、昔の異端」 和
- 「今、この時」 細川明人
- 「人間の尊厳」 暁夏
- 「袖」流転 蒼樹ほのお
- 「クラスメート」 篝火斜線
- 「速くにいるきみへ」 上木戸晃
- ◎「雨の交差点」 真城イコ
- 「そのままでの美しさ」 中村郁恵
- ◎「余熱」分かつ 深雪 朔
- 「蒼い桜」

宝石「夕焼け」

- 「そのまものかたさ」 伊藤結菜
- 「憧憬」 松岡真弓
- 「介護の魔法」 清水将也
- ◎「炎夜」浜辺の二人 加藤光哉

青森県

- 「径の記憶」 小山田良三
- 「パンデミック、ガイアの復讐」 金田正太郎
- 「心に愛を持つとう」 鰐村兔
- 「探し物」既視感 白田環暉
- 「白い砂」 さゆりこ

岩手県

- 「こぼれ落ちる悲しみから」 三浦恵子

- 「鉄塔」夜空の詩 浦野恵多
- 「哀しむこと」 坂井 傑
- 「魔獣の朝の歌」 浅見龍之介
- 「陰画詩」 伊藤彰一
- 「五里夢中」 北 堅太
- 「真夏日」 惟村来帆
- 「液体の窓」 柏原 宥
- 「星下」循環 白神つや
- 「すわる」 左桂もも
- 「線香花火」 大道寺みなも
- 「原石は輝いている」 田尻みなみ
- 「語りべの論」 水口有理
- 「処女航海饒の辞」 齋藤圭之介

- 「見限られた生」 七 まどか
- 「トラッドな人」 内田沙夜
- 「雨上がり」遺棄 氏家 忍
- 「人工冬」石の男 三ツ木健
- 「漆黒の残響」 藍澤祐樹
- 「5月の空気調和機」 庄司直也
- 「はじめに」 平岡 花
- 「だじょうぶ！」 綿飴 海
- 「年齢を受け入れよう」安藤鐘明 篠崎フクシ
- 「静謐な雨のために」 藤居景子
- 「憶い出した」 丸岡晴久
- 「無題」 市川紫音
- 「金曜日の男」 浅井雅子
- 「七年経って」 野村嶺花
- 「二台の車」 高山静佳
- 「あの頃の日記帳」 清水一美
- 「花の眠り」 坂本 榮
- 「時空」原子の火 栗山貴之
- 「カナヘビ」 土山育司
- 「北沢、変わらず。」佐久間信 土山育司
- 「夕微光」 大山いづみ
- 「生きる」 大いづみ
- 「静脈」 遠藤芳子
- 「蒼ざめた夏」 南斗るい
- 「終息」Eyx 春原逞美
- 「有限の生と無限の死」 渡辺八畳
- 「三月一日から僕らはスーツを着るようになった」 和泉彩来
- 「大和撫子の憂鬱」

東京都

- 「線香花火」 大道寺みなも
- 「原石は輝いている」 田尻みなみ
- 「語りべの論」 水口有理
- 「処女航海饒の辞」 齋藤圭之介
- 「自殺」猫よ 三島佑太
- 「志村けん」形 ita
- 「蝶・少年の夢」 森下万尋
- 「はなしかける」 おおら利和
- 「BLACK BIRD」 林 大輔
- 「僕」君 ヤス
- 「情景の中に」山桜 葛岡昭男
- 「母」筆跡「魔法」水沢朱実
- 「灰色の老婆」水色のトントン
- 「J.S.Bach」天上の木 上野 樹
- 「稜歌」渡梅「夏韻」井上珠希
- 「拝啓の手前で」 柄摩くべる
- 「曇天の隙」夕暮れ 加藤郁美
- 「小さな夜」 西脇竹比古
- 「蠅」 平山公子
- 「土笛を吹く」 五十月 彩

- 「ペランダについて」サイカ
- 「まどろみ」「救済」 不破 重
- 「魔王よ」「俺と女」 原水
- 「ある朝」「再出発」 朝顔
- 「母の骨」「夜を泳ぐ」 茉莉えま

宮城県

- 「ユカリ」「シガマ」 今井 悠
- 「笑笑」「さかなびと」 七羽鳩子
- 「いじめ」 そらごとつむぎ
- 「紡26」無題 1623
- 「それでも、生きてる」 春海
- 「信心」「箱の中」 秋山祥吾
- 「冠」 石原佑弥
- 「染みついた遠い記憶」 さなえさん
- 「リョウシンヲモタズ」 加山もみじ
- 「貴女といること」 たか

山形県

- 「後ろ姿は清潔に！」 伊藤志郎
- 「ステイルグッド」 太田和義
- 「モムモム」 問 好
- 「一匹狼」 平澤有子

福島県

- 「新コロナ戦争」 諸井博行

栃木県

- 「空に抱かれたら」 紺野 詩
- 「言葉」「見つめる瞳」 富田永美
- 「晴れた日に」 下田美知子
- 「私の古事記」 岡部 隆

群馬県

- 「幸福な時間」 千葉チェンヅツ
- 「めだか鉢」「手触り」 小川菜由
- 「花をひらく」 一橋省吾
- 「私が勝って、何が悪い!？」 三月月李衣
- 「懐疑の螺旋」 木村 稜
- 「素顔の告白」 小林昭太
- 「浮世離れ」 瀬戸成海
- 「三ノ輪浄閑寺」 野上 卓
- 「おとなになるといふこと」 月島小夜子
- 「淡い甘い春のなか」 いでみどり
- 「長男への同化」「小径」 佐藤裕
- 「愛の宝石箱」 美加あゆみ
- 「死んでいく心を生かす」 大澤けいよう
- 「ライオンの眼差し」 松原泰子
- 「結婚式」「翔べ」 横井純子
- 「現の夢」 松岡有利子
- 「禍」「獣」「金平糖」 麻生ゆり
- 「お帰り」 金子ひろみ
- 「綾織る星のうた」 朝霧橙子
- 「蚕蛾のお姫様」 山内裕史
- 「変死、あるいは交響曲」 北上郷夏
- 「孤児と聖母」「神の国」 小町蘭

千葉県

- 「自殺」猫よ 三島佑太
- 「志村けん」形 ita
- 「蝶・少年の夢」 森下万尋
- 「はなしかける」 おおら利和
- 「BLACK BIRD」 林 大輔
- 「僕」君 ヤス
- 「情景の中に」山桜 葛岡昭男
- 「母」筆跡「魔法」水沢朱実
- 「灰色の老婆」水色のトントン
- 「J.S.Bach」天上の木 上野 樹
- 「稜歌」渡梅「夏韻」井上珠希
- 「拝啓の手前で」 柄摩くべる
- 「曇天の隙」夕暮れ 加藤郁美
- 「小さな夜」 西脇竹比古
- 「蠅」 平山公子
- 「土笛を吹く」 五十月 彩

東京都

- 「見限られた生」 七 まどか
- 「トラッドな人」 内田沙夜
- 「雨上がり」遺棄 氏家 忍
- 「人工冬」石の男 三ツ木健
- 「漆黒の残響」 藍澤祐樹
- 「5月の空気調和機」 庄司直也
- 「はじめに」 平岡 花
- 「だじょうぶ！」 綿飴 海
- 「年齢を受け入れよう」安藤鐘明 篠崎フクシ
- 「静謐な雨のために」 藤居景子
- 「憶い出した」 丸岡晴久
- 「無題」 市川紫音
- 「金曜日の男」 浅井雅子
- 「七年経って」 野村嶺花
- 「二台の車」 高山静佳
- 「あの頃の日記帳」 清水一美
- 「花の眠り」 坂本 榮
- 「時空」原子の火 栗山貴之
- 「カナヘビ」 土山育司
- 「北沢、変わらず。」佐久間信 土山育司
- 「夕微光」 大山いづみ
- 「生きる」 大いづみ
- 「静脈」 遠藤芳子
- 「蒼ざめた夏」 南斗るい
- 「終息」Eyx 春原逞美
- 「有限の生と無限の死」 渡辺八畳
- 「三月一日から僕らはスーツを着るようになった」 和泉彩来
- 「大和撫子の憂鬱」

千葉県

- 「線香花火」 大道寺みなも
- 「原石は輝いている」 田尻みなみ
- 「語りべの論」 水口有理
- 「処女航海饒の辞」 齋藤圭之介
- 「自殺」猫よ 三島佑太
- 「志村けん」形 ita
- 「蝶・少年の夢」 森下万尋
- 「はなしかける」 おおら利和
- 「BLACK BIRD」 林 大輔
- 「僕」君 ヤス
- 「情景の中に」山桜 葛岡昭男
- 「母」筆跡「魔法」水沢朱実
- 「灰色の老婆」水色のトントン
- 「J.S.Bach」天上の木 上野 樹
- 「稜歌」渡梅「夏韻」井上珠希
- 「拝啓の手前で」 柄摩くべる
- 「曇天の隙」夕暮れ 加藤郁美
- 「小さな夜」 西脇竹比古
- 「蠅」 平山公子
- 「土笛を吹く」 五十月 彩

第16回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

- 兵庫県
「すきま」 北原 満
「サバナの王様」 横本大将
「魚族の血」 やしき灯子
「見えないもの」 創まりの虚数
「視点を変えて見れば」 西田拓真
「夜の動物園」 鹿島 遊
「やさしいいきもの」 シーレ布施
「ピアスホール」 暁あさこ
「風葬」 梶子」 雷屋朔十郎
「神話」 衝動」 内山ヒロユキ
「ゆめゆめ褪せぬ」 暁 咲笑
「高天」 昊天」 東 麻梨子
「努力するわ」 福永祥子
「燦然」 月海水雲
「ごまかしの朦朧生活、メモ」 縞本鯛地
「退屈凌ぎ」 白山ワンダフル
「理科室」 晨道珠暉
「壁」 元気な時間」 佐藤陽平
奈良県
「春の里」 春の庭」 和田壮史
「永い雨」 松井宏行
「そいうもの」 永井尚樹
「鋼」 鴨川」 インバ
和歌山県
「2020の偶像」 ウラキハヤト
島根県
「窓辺」 手紙」 橘いずみ
「確かな今」 栗田好子

- 岡山県
「火星に行かないか」 稲吉急便
「紅のアネモネ」 桔梗」 灰羽
「ミゼラブル」 マリ
「曇っている」 吉行鮎子
「ボクの引き出し」 御船裕美
「んげんについて」 ふじたこうらこ
広島県
「水芭蕉」 悔しさ」 菊池正和
「笑顔」 「いのち」 はしのぶしげ
「光の支配」 木塚康成
「夜が染みこむ」 遊遊
「ある夕暮れのこと」 いまだまりこ
山口県
「春は来ましたが」 松本侑子
「烏合」 「器」 考作慎吾
徳島県
「忘れ物」 村上文緒
香川県
「誰かがささやく」 静川雅史
「断章」 寒川靖子
「霧遊病」 夏炬冬扇
「ポップ・デュランのように」 月野みさと
福岡県
「my town」 「praise」 Rosy
「ある被爆者の証言」 星椎水精

- 愛知県
「鳥ヶ丘」 イガゲリズム
「遥か沖から」 清水将一
「自然によって人間を壊されても」 浦 聖人
「カスタマイズコヒー」 南月
「自分の夢を叶えるために」 神宮寺ターボ
「月と我々」 ひつじつき
「シユプレヒコール」 清水将一
「森」 「ある時」 TAKA HARA
「閉じる」 鳥居さち
「ドブ」 「溶解」 「音楽」 森 由紀
「闇の踊り子」 桜道優純
「紅葉の牢獄」 江野沢成二
「優しさ」と 高倉麻耶
「玻璃」 「枇杷」 梶浦みなみ
三重県
「五十九キロ」 「大の字」 上下
「雨の唄を聴かせて」 かをり
「暗闇の中から」 倉田 花
滋賀県
「みんな」 大河増駆
「スープ」 岸田小雪
「かいな」 潮江しおり
京都府
「ノウツにふける、おんなだつ」 永島慎太郎
「費やす時間」 川崎登美夫

- 大阪府
「理解」 宮田直孝
「罪」 「夢」 「生存」 東風佳子
「神の降る日」 しいな育香
「漁師ブルー」 長谷川航
「たぶんあのとき」 山口たおず
「次世代の声」 藤浪颯介
「贅沢者」 「生死の唄」 瀬鷺しの
「深海の向こうへ」 中野杏璃
「人気者」 「少年の釣り」 新里輪
海外
「また モリへ」 Olga
「ピリオドの奏楽」 石井春香
「古い二才」 燃ゆる芥
「夢知らせ」 山根信良
「New Moon」 隅田聖美
「営業される記憶とたむ覚醒」 菊池優人
「閉鎖病棟」 英田はるか
「灰色」 「少女」 真冬 文
「友人誕生」 京のふじ
「子守り唄」 「生計」 折戸みおこ
「新世界」 来山四季

第16回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

- 「君は汽車を降り一人荒野を征く」 月夜野風
「雪花」 「花雪」 小山剛広
「みたくもない夢」 タタノヒト
「言葉ビックパン」 若澤良太
「コーヒークップ」 楓悠
「別れの詩」 菊地 栞
「部屋の片隅で」 常間地 裕
「隠された移動」 布都原史朗
「磔」 「宵街幻燈」 青木聡汰
「まぼろしにバイバイ」 あんず
「狼煙」 「国境」 「石塔」 佐々木樹
「地獄の底で」 太田 律
新潟県
「リアルラブキル」 山名うみ
「遠景」 阿部マロウ
「公式未定義」 本多智秋
「末日」 「光は束」 小林
「果ての宇宙で」 「例巻」 昭架
「川」 「赤い門」 齋藤那名
富山県
「あなたへ」 有澤かおり
石川県
「君は何処へ」 中村 隆
「純化」 吉井 裕
「知らない人」 「開拓者」 椋二郎
「勇敢な君へ」 たかいちめい
「わたしとわたしの魂の速度」 星野瑞紀
福井県
「トーン」 「月と街燈」 榎あずさ
「ボケ老人のひとりごと」 藤井典央

- 山梨県
「異常者」 「南の果て」 田中浩司
「亡き家族」 倉沢辰子
「淘汰」 石丸麻綾
「記憶」 「病む子よ」 樋口英子
長野県
「完全変態」 西沢由起
「水汲むことも」 藤野ハレ
「脳髓に息づいている」 西條由美子
「聖夜の誓い」 十一 朝
岐阜県
「星とともに」 小岩れい
「一枚のチケット」 岩崎 明
「14歳」 池野太樹
「美しい道」 「植の音」 村瀬継弥
「星を結ぶ」 愉々
「待ちぼうけ」 中原賢治
静岡県
「暁の鏡」 「羽化」 天野でん
「繰り返される嘘」 水野清章
「家」 「本棚のひと」 佐藤光江
「描く」 田村全子
「明日の声」 神谷りん
「わたしの風車」 後藤敏斤
「春眠(一)」 小山修一
「矛盾が両立する世界」 小山修一

- 「蜜柑」 「車窓」 吉岡幸一
「亡骸」 「微睡」 十路田道広
「記憶の在処」 丸瀬隆人
「支援」 全体俯瞰
「肉笛」 六戸節子
「枯湯下線SE」 岩尾宏紀
「長崎県」 高崎千十
「冬のウグイス」
熊本県
「静謐」 「貴女の左頬の黒子」 種
「ASHIMOの日曜礼拝」 Keisei
「オレンジアルゴリズム」 西東
「脱獄」 松尾祐里
「花と車」 「山茶花」 五井田寧々
「潜伏芽」 絹本ゆい子
大分県
「キミとボク」 三段目カマチ
「風吹けば」 梶原佑心
「また、桜の季節」 仙波寛人
「あかい夕焼け」 高橋蒼太郎
「宮崎県」 夏目知佳
「神様あのね」
鹿児島県
「被爆の少女」 島本青玄
「バベル」 「なかつた」 夢沢那智
沖縄県
「白骨」 齊藤フニ子
「ある人が言った」 ユカコ
「全て、よし」 室園美音
「分かれ道」 「血脈」 安堂

- 「閉鎖病棟」 英田はるか
「友人誕生」 京のふじ
「子守り唄」 「生計」 折戸みおこ
「新世界」 来山四季